

## 小学部 算数科 学習指導案

日 時：令和4年9月16日（金）  
9：35～10：20

場 所：小学部棟 プレイルーム  
対 象：Dグループ 4名

授業者：大谷 保裕 阿倍 智樹

1 題材名 『パズル電鉄ゲーム』で、具体物を使って、様々な物の長さを測定しよう

### 2 題材目標

		題材目標	学習指導要領の扱う内容
P	知	『パズル電鉄ゲーム』でピースの長さを比べたり、測ったりする時、長さの正確な測り方や単位が示す長さがわかり、物の長さの長短を正確に判断したり、定規を使って物の長さ(30cm以内)を測り、「○cm○mm」などと答えたりする	小学校2年 C測定 【知識及び技能】 ア(ア)長さの単位(ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m))及びかさの単位(ミリリットル(mL)、デシリットル(dL)、リットル(L))について知り、測定の意味を理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 イ(ア)身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりすること。 【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う
	思	『パズル電鉄ゲーム』で、必要な長さのピースを準備する時、単位を用いて表示してある長さがそれぞれの単位いくつ分なのか考え、測定する物の起点と測り終わりの位置を判断し、必要な長さの物を選ぶ	
R	知	『パズル電鉄ゲーム』でピースの長さを比べたり、測ったりする時、長さの正確な測り方や単位が示す長さがわかり、数値と単位を見て物の長さの長短を判断したり、数値と単位で答えたりする	【思考力・判断力・表現力等】 イ(ア)身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりすること。 【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う
	思	『パズル電鉄ゲーム』で、単位変換をして必要な長さのピースを準備する時、数値と数量と単位の関係について考え、測定する物が示す目盛りの位置を判断し、必要な長さの物を選ぶ	
全学		数量や図形に進んでかわり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている	

### 3 教材等



4 題材計画 (全10時間の5時間目) ※別紙資料にA3別紙で記載

5 題 目 『パズル電鉄ゲーム』で、パズルのピースの長さを定規で測り、必要な長さのピースを集めよう!

4 題材計画

		一次		二次					三次		
児童	時数	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9	10
P	知・技	場面	2つのパズルのピースの長さを比べる時、	えんぴつの長さを単位として、いろいろな物の長さがえんぴつの幾つ分か測る時、	いろいろな長さのえんぴつから単位とするえんぴつを決めて、物の長さがそのえんぴつ幾つ分か測って物の長さを伝える時、	1cmを単位として、線や物の長さを測る時、 (cm)	定規を使って 身近な物の 線や物の 身近な物の 長さを測る時、			/	
		わかること	空いたマス埋めるピースの長さや大きさを伝えたり、選んだりする活動を通して、物の長さ(大きさ)の伝え方や測定の方法に課題をもつ	比べる物同士の端を合わせると正しく比べられることがわかり、	起点から測り進める方にある物の端が、●本目の起点になることがわかり、	単位となるえんぴつの長さが異なると、○本分の長さも変わるといことがわかり、	測る物の長さは、1cmが幾つ分なのかをわかり、	測る物の長さは、1cmと1mmが幾つ分ずつかわかり、	測る物の長さは、1cmと1mmが幾つ分ずつかわかり、		
	できた姿	「●●の方が長い」や長い方を指さして「長い」などと答える	測定した物の長さを、「えんぴつ●本分」などのように答える	測定した物の長さを、「このえんぴつ●本分」などと、単位となる鉛筆の長さを指定して答える	線や物の長さを「○cm」や「1cm○個分」などと答える	定規を使って物の長さを測り、「○cm」と答える	線や物の長さを「○mm」や「1mm○個分」などと答える	定規を使って物の長さを測り、「○cm○mm」と答える			
	配慮的に扱う内容	<input type="checkbox"/> 長い・短いの意味 <input type="checkbox"/> 同じの意味									
思・判・表	具体的状況	「長い方を取ってきて」「短いのはどっち」などの問いに答える時、	物の長さを友だちに伝える時			身近な物の長さを測る時、(1~10cm)	直接比較できない物の長さを比べる時、 (ちょうど○cm) (ちょうど○mm) (○cm○mm)			必要な長さの物を測って準備する時、	
	表出像	2つの物の合わせる端の位置について考え、端同士が合ったことを判断し「○の方が長い(短い)です」と答える ただし、端と端をそろえて比べなくてもわかる課題も提示する	起点から測り進める方にある物の端の位置について考え、○個目の位置で測り終えたと判断し、～が○個分の長さとして伝える	単位とする物の長さが異なると、○個分の長さも変わると考え、単位とする物を選択し、「この～が○個分」などと、測定した物の長さを伝える	1cmの長さについて考え、測る物が「1cm」のいくつ分であるかを判断し、「1cmのブロックが○個分で、○cm」などと答える	物の長さが1cmいくつ分なのか考え、	物の長さが1mmいくつ分なのか考え、	物の長さが1cmと1mmいくつ分なのか考え、	単位を用いて表示してある長さがそれぞれの単位いくつ分なのか考え、測定する物の起点と測り終わりの位置を判断し、定規の○cmや○cm□mmの物を準備する		
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 長短を判断したり、物の長さを測定したりする問題に、正解するまで取り組む <input type="checkbox"/> 数値などで比較することが必要な場面で定規を使い、物の長さを数値で表して比較し、正確な答えを求める (cm) <input type="checkbox"/> 友だちの様子を見て、正誤を判断する <input type="checkbox"/> 物の起点となる位置に、定規の「0」があっているかを確かめるなどして測定し、物の長さを答えたり、長さを比べたりする問題に正解するまで取り組む (mm) <input type="checkbox"/> 定規の、cmとmmがそれぞれいくつ分かを数えて、○cm○mmと答える問題に正解するまで取り組む <input type="checkbox"/> 定規を使って物の長さを正確に測り終えるまで取り組む <input type="checkbox"/> 印をつけた後に、定規でもう一度測るなどして、長さを確かめる									
	学習調整	<input type="checkbox"/> 長短を判断した理由や問いに対する答えの説明をしたり、長短の比較や測定の方法など学習を通してできるようになったことを発表したりする <input type="checkbox"/> どのようにして長さの比較をしたか答えたり、定規を使った物の長さの測り方を発表したりする									
児童	時数	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9	10
R	知・技	場面	2つのパズルのピースの長さを比べる時、	えんぴつの長さを単位として、いろいろな物の長さがえんぴつの幾つ分か測る時、	いろいろな長さのえんぴつから単位とするえんぴつを決めて、物の長さがそのえんぴつ幾つ分か測って物の長さを伝える時、	1cmを単位として、線や物の長さを測る時、 (cm)	○cm○mm	/	長さの単位を変換する時、	100cm以上の物の長さを測る時、	/
		わかること	空いたマス埋めるピースの長さや大きさを伝えたり、選んだりする活動を通して、物の長さ(大きさ)の伝え方や測定の方法に課題をもつ	比べる物同士の端を合わせると正しく比べることがわかり、	起点から測り進める方にあるえんぴつの端が、●本目の起点になることがわかり、	単位となるえんぴつの長さが異なると、○本分の長さも変わるといことがわかり、	測る物の長さは、1cmと1mmが幾つ分ずつかわかり、		測る物の長さは、1cmと1mmの単位の関係がわかり、		
	できた姿	「●●の方が長い」や長い方を指さして「長い」などと答える	測定した物の長さを、「えんぴつ●本分」などのように答える	測定した物の長さを、「このえんぴつ●本分」などと、単位となる鉛筆の長さを指定して答える	線や物の長さを「○cm」や「1cm○個分」などと答える	定規を使って物の長さを測り、「○cm○mm」と答える	測った物の長さを、○mや□○cmと答える				
	配慮的に扱う内容	<input type="checkbox"/> 長い・短いの意味 <input type="checkbox"/> 同じの意味									
思・判・表	具体的状況	「長い方を取ってきて」「短いのはどっち」などと問われた時、	物の長さを友だちに伝える時、			身近な物の長さを測る時、(1~10cm)、	定規を使って、身近な物の長さを測る時、	必要な長さの物を測って準備する時、	○cm□mmや□□mmの長さを、 それだけ単位を変換した長さで答える時、	○m□□cmや□□cmの長さを、 1cmと1mの 1cmと1mの	定規よりも長い物の長さを定規で測る時、
	表出像	2つの物の合わせる端の位置について考え、端同士が合ったことを判断し「○の方が長い(短い)です」と答える ただし、端と端をそろえて比べなくてもわかる課題も提示する	起点から測り進める方にある物の端の位置について考え、○個目の位置で測り終えたと判断し、～が○個分の長さとして伝える	単位とする物の長さが異なると、○個分の長さも変わると考え、単位とする物を選択し、「この～が○個分」などと、測定した物の長さを伝える	1cmの長さについて考え、測る物が「1cm」のいくつ分であるかを判断し、「1cmのブロックが○個分で、○cm」などと答える	物の長さが1cmと1mmいくつ分なのか考え、どちらが長い(短い)かを判断し、「～の方が長い(短い)」などと答える	単位を用いて表示してある長さがそれぞれの単位いくつ分なのか考え、測定する物の起点と測り終わりの位置を判断し、定規の○cmや○cm□mmの物を準備する	○cm□mmの長さを□□mmと、□□mmの長さを○cm□mmと答える	○m□□cmの長さを□□cmと、□□cmを○m□□cmと答える	定規の右端の目盛が示す長さや目盛と測るものとの位置関係について考え、定規を当て直す位置と長さの総量を判断し、測り進める方の端に定規の「0」を合わせて物の長さを測り、「○cm」などと答える	
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 長短を判断したり、物の長さを測定したりする問題に、正解するまで取り組む <input type="checkbox"/> 定規の、cmとmmがそれぞれいくつ分かを数えて、○cm○mmと答える問題に正解するまで取り組む <input type="checkbox"/> 単位を変換する問題に正解するまで取り組む <input type="checkbox"/> 定規を使って物の長さを正確に測り終えるまで取り組む <input type="checkbox"/> 長短を判断した理由や問いに対する答えの説明をしたり、長短の比較や測定の方法など学習を通してできるようになったことを発表したりする <input type="checkbox"/> cm、mmの単位を使い分けて、物の長さを測って答える									
	学習調整	<input type="checkbox"/> 長短を判断した理由や問いに対する答えの説明をしたり、長短の比較や測定の方法など学習を通してできるようになったことを発表したりする <input type="checkbox"/> 単位変換表を見るなどして、自分で確かめをする <input type="checkbox"/> 友だちの答えを見て、正誤を判断する <input type="checkbox"/> 印をつけた後に、定規でもう一度測るなどして、長さを確かめる <input type="checkbox"/> mmをcm、cmをmに単位を変えて答えた理由などを答える									

